

2019年04月01日

2019年度 期初方針

本日4月1日（月）9時00分より、伊藤ハム株式会社（東京都目黒区）にて行われました、代表取締役社長 柴山育朗による「2019年度 期初方針」の要約を下記の通りお知らせします。

記

2019年度を迎えるにあたって

力を合わせてV字回復を成し遂げよう！

はじめに

伊藤ハム米久ホールディングスは、4年目となる新たな事業年度がスタートした。従業員の皆様が気持ちを新たに仕事にやりがいと意欲を持って臨まれることを希望する。

競争力向上に向けた施策の実行は今後の事業運営の中で大きな力になる

昨年度は相場変動だけではなく、価格競争の激化が続く中、人件費・物流費・資材費などが上昇し続け極めて厳しい事業環境の一年だった。一方、取手工場第2工場新設や、サンキョーミート有明ポークプラント増設など、競争力向上に向けた施策が計画どおり実行できたことは今後の事業運営の中で大きな力になるものとする。なにより、皆の真摯な努力により食肉事業、加工食品事業ともに引き続き売上高を伸ばすことができたことは市場に受け入れられているという意味で将来に向けた明るい材料と言える。

何がベストであるかを考えて、勇気を出して変革をする

今年度も引き続き厳しい競争環境が続く見込みの中、TPP11 および日欧 EPA の発効、日米 TAG の動向、改元、大型連休、消費税増税など業績に影響を及ぼす可能性があるイベントがめじろ押しだ。このような大きな変化の時こそ、環境を正しく分析し、みんなで知恵を絞り、「何がベストであるかを考えて、勇気を出して変革する」ことが必要となる。V字回復に向けて、従業員一人一人が力を合わせて課題に取り組み、努力・行動されることを期待する。

以上

| | |
|------------------|---|
| 本リリースに関するお問い合わせ先 | 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社 総務部広報室 篠原、眞島 TEL : 03-5723-6889 FAX : 03-5723-2112 |
|------------------|---|